

『ふるさと長崎県』の発行にあたって

私たちのふるさと長崎県は、山の雲仙、海の西海の二つの国立公園に代表されるように、美しい景観と豊かな自然に恵まれています。また、古い時代から外国文化を受け入れる窓口として重要な役割を果たし、我が国の近代化をリードしてきました。地理的にも歴史的にも、全国に誇れるすばらしいふるさとです。

また、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」に引き続き、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録されました。文化面における本県のすばらしさが世界に発信されることは大変喜ばしいことです。

さて、今日の社会は急速にグローバル化が進んでおり、中学生のみなさんには、国際社会に生きる日本人としてたくましく成長し、世界の人々と手を携えながら生きていくことが求められます。そのためには、まず、自分たちが暮らすふるさとについて、先人の歩みや伝統文化に対する理解を深めることが大切です。そのことが、日本人としての自覚を持ち、国際社会で主体的に生きる力へとつながります。

この本は、中学生のみなさんが本県の自然、歴史、文化、産業などを学習する際に活用してもらうために発行し、改訂を重ねてきた本県独自の学習教材です。それぞれの地域のよさを再発見し、郷土に対する誇りと愛情を育み、将来への夢や憧れ、志をふくらませることを願っています。

各学校におかれては、社会科や総合的な学習の時間等における積極的な活用をお願いします。また、校外学習などの機会に県内各地の文化施設を訪問し、歴史と文化にあふれる「ふるさと長崎県」の姿を肌で感じとるなど、各学校における郷土学習が一層推進されますことを心から願っております。

令和6年3月31日

長崎県教育委員会

教育長 前 川 謙 介